



# 駿河台大学 同窓会

SURUGADAI UNIVERSITY ALUMNI ASSOCIATION

駿河台大学同窓会報

## 第21号

発行  
駿河台大学同窓会事務局  
〒357-8555  
埼玉県飯能市阿須698  
☎042-972-1101

駿河台大学同窓会ホームページ <http://www.surugadai.ac.jp/dousou/index.html>

### ホームカミングデー・創立25周年記念 事業開催のお知らせ

駿河台大学は、今年、創立25周年を迎えます。  
今年の秋は、ホームカミングデーに加え、創立25周年記念事業を企画して、卒業生の皆様のご参加をお待ちしています。

今年で10回目を迎えるホームカミングデーですが、毎年、駿輝祭開催に併せて開催しています。さらに、今年は駿河台大学創立25周年を迎える節目の年でもあります。多くの卒業生の皆さんに母校にお集まりいただき、駿河台大学の発展を皆さんと一緒に祝うことができればと、様々なイベントを企画しています。当日は、会場にキッズルームをご用意する予定です。  
ご友人やご家族の方をお誘い合わせの上、是非ご参加いただきたく、ご案内致します。

10月22日(土)開催!

#### ホームカミングデー



◆東ちづる氏講演会  
(同窓会・父母会共催)  
東ちづる氏による講演会「自分らしく生きる」を開催します。皆様のご来場をお待ちしています。  
時間 13時～  
場所 第二講義棟4階 7405教室  
会費 無料

#### 東ちづる氏プロフィール

女優。広島県出身。ドラマからコメンテーター、ラジオ、講演、出版など幅広く活躍中。現在「モーニングバード」(毎週水曜、テレビ朝日)にレギュラー出演中。プライベートでは、19年前より、骨髄バンク、戦争で傷ついた子どもたちを引き取り、治療、リハビリの後、母国に帰す活動を行うドイツ平和村、傷がい者アート支援のボランティア活動を続けており、11東日本大震災で被災した方々を支援する目的で、チャリティー絵画展「よりそう」を立ち上げ、全国各地で開催している。著書には、母娘で受けたカウンスリングの実録と共に綴った「(私)はなぜカウンスリングを受けたのか」「いい人、やめた!」母と娘の挑戦や、ドイツ平和村での活動とライフワークであるボランティア活動での思いを綴った「わたしたちが忘れてないで!ドイツ平和村より」のち・人生・生活・世間を考えるメッセージ満載の書き下ろしエッセイ『らいふ』など多数。



◆ホームカミングデー懇親会  
軽食(オードブル・サンドウィッチ・デザートなど)とお飲物を用意してお待ちしております。  
時間 15時～16時30分  
場所 第二講義棟15階レセプションルーム  
会費 無料  
※当日は、飯能・元加治・金子駅から無料スクールバスが循環運行しておりますのでご利用ください。お車でご来場の場合、駐車場に限りがあり、大学近辺の駐車場をご案内する場合がありますので、予めご了承ください。

### Back to the Campus

#### 11月23日(水)勤労感謝の日開催!!

#### 創立25周年記念事業特別企画

◆駿大の里山・森のパーティー  
時間 11時集合(13時終了予定)  
場所 飯能キャンパステニスコート裏「駿大の里山」  
会費 無料  
\*石焼窯で焼いたできたてのピザの他、バーベキューなども予定しています。

「駿大の森」百年協定に基づき、飯能活性化「森林文化都市機構支援プロジェクト」は、本学が位置する「森林文化都市」宣言を行った飯能市の地域活性化活動への貢献と、本学の教育目標である「地域社会の中核を担う人材の育成」の実現に向けた総合的な取り組みです。  
飯能市から百年間にわたって無償で貸与された「駿大の森」における森林育成や保全活動及び本学キャンパスの約50%を占める「駿大の里山」における里山づくりを、飯能市・市民・企業との産官学連携、さらには地域の中学校・高等学校との中高大連携を図りつつ実践しています。

そして、授業科目「森林文化」は本学の全ての学生が受講可能な科目であり、さらに今年度は「森林文化実習」を同窓会からの寄付講座として開講し、在学生への支援を行っています。  
当日は、卒業生の方にも「駿大の里山」を散策していただき、この授業に関連して造られた森の石焼窯でのピザ作り体験も企画しています。

◆記念式典  
時間 13時～  
場所 飯能キャンパス 第二講義棟4階 7405教室  
会費 無料



◆岡田武史氏講演会  
サッカー日本代表前監督、現日本サッカー協会(JFA)理事の岡田武史氏による講演会  
「目標達成するリーダーの決断と行動〜日本代表監督の仕事とは〜」を開催します。  
時間 13時50分(約1時間)  
場所 第二講義棟4階7405教室  
会費 無料

◆同窓会主催祝賀会(ジャズの夕べ)  
時間 (受付) 15時30分  
(開宴) 16時～17時30分  
場所 ヘリテイジ・リゾート飯能6階 (旧飯能プリンスホテル)  
会費 無料  
\*現役学生と卒業生の合同企画もあります。

※当日は、飯能・元加治・金子駅から無料スクールバスが循環運行しております。特に祝賀会会場への移動の際は、スクールバスをご利用ください。  
※詳細は「創立25周年記念事業案内号」(10月下旬発行予定)でご確認ください。  
※ご参加いただける場合は、「創立25周年記念事業案内号」に同封のはがきを返送していただくが、同窓会事務局までメールにてご連絡ください。同窓会メールアドレス [dousou@surugadai.ac.jp](mailto:dousou@surugadai.ac.jp)



森の石焼窯

### 平成23年度 同窓会総会・懇親会開催報告

5月28日(土)に、平成23年度同窓会総会が開催されました。

3月に発生した東日本大震災により、駿河台大学の新学期は5月からのスタートとなりましたが、同窓会総会は予定を変更することなく、京王プラザホテル(新宿区西新宿)で開催されました。

総会に先立ち、12時から役員会が開催され、同窓会の事業計画の他、今年度、本学が創立25周年を迎えることから、同窓会が企画する記念事業についても審議されました。

15時30分からの同窓会総会では、総会の冒頭、今年4月から学長に就任され、同窓会名誉顧問となられた川村正幸学長と、新旧同窓会長からご挨拶をいただきました。今回は、その内容を中心にご報告致します。



平成23年度総会学長挨拶

以前は一橋大学に3年間勤務していましたが、平成21年4月に駿河台大学法務研究科(法科大学院)に移り、昨年は法務研究科長、そして今年4月からは学長を務めさせていただきます。今後ともよろしくお願ひ致します。

同窓会からは、いつも学生に対して大きなご支援をいただき、また今年は寄付講座もいただき、ありがとうございました。

本学では、東日本大震災に伴い、3月の卒業式が中止となり、4月は在宅学習期間とし、学生指導に万全を期してまいりました。入学式が5月4日に延期となり、5月9日から講義が開始され、新学期も順調にスタート致しました。

本学でも被災した学生がおりましたが、経済的な面も含めたサポートをしっかりとしていきたいと考えています。卒業式がやむなく中止となり、6月12日には「平成22年度卒業を祝う会」を開催するよう準備を進めております。

さて、本学では本年をもちまして25周年を迎え、勤労感謝の日の11月23日には創立25周年記念式典を開催する予定で準備を進めております。目的と卒業生との交流を図り、相互の親睦を深める目的もございますので、卒業生の皆様の参加を心からお願ひ致します。また、この記念事業を同窓会との共催にしたいだけとありがたく思いますので、ご協力をお願い致します。

本学は今年973名の新入生を迎え、キャンパスは大変活気に溢れてまいりました。しかし、本学はいくつかの問題点も抱えております。少子化の影響で学生確保が厳しい状況になっております。この二つの問題に対応できないければ、大学の発展を目指して活動していくことが難しいと考えます。

対応策として、入試対策強化とキャリア教育の強化、就職活動支援の強化が重要な課題となります。学生のキャリア教育と社会人基礎力の向上を目指して、4年間一貫した教育を行い、さらに魅力を高めるためにカリキュラム改革も行ってまいります。大学は決して教職員のものではなく、卒業生を含めた多くの方のものです。卒業生の皆様が誇りの持てる大学を目指すのが、現在教職員として勤めている者の役割と考えます。

同窓会の皆様から、忌諱のないご意見・ご助言・ご支援をいただいで、より良い大学改革に努めてまいりますと思っておりますので、今後ともよろしくお願ひ致します。

#### 富岡勇哉前同窓会長からの挨拶

平成14年から9年間、足掛け10年、皆様のご協力により長く会長を務めさせていただきました。その間、志のある多くの皆様から協力いただき、ありがとうございました。

今度こそ、このような会場で総会を開催できるようになり、懇親会にもお子さんを連れて来ていただけるようになりましたが、ここまでくるのに10年かかりました。

当初、総会の場合でも、わずか7名、その翌年は15名の方しか集まっていたけれど、懇親会の場合も良いのかと、料理を前にして、「こんなことで良いのか」と思った時期がずっと続きました。

そのような中でも、大学の学生が心臓手術をしなくては行けなくなった時、大学と同窓会が寄付を呼びかけていたところ、私と年代が近い方がご自分の意思で、心を砕いて寄付を呼びかけてくださいました。

このような、縦のつながり、横のつながりが10年かけて少しずつ出来上がってきたのだと思います。しかし、ちょうど一年前のこの総会の場合、色々なお声がありました。私も長いこと会長をしておりまして、その変化に気が付かないところがあったのかもしれないが、この会が面白くない、もっと活性化すべきだ、もっと学生に対して支援すべきだというご意見を、私は大変重く受け止めました。

一年間色々と考え、何らかの橋入れをしなくては行けなかった面もございました。一方、次の年度に何か新しい形が必要ではないかと考えていた矢先、3月11日に東日本大震災が発生し、日本は大きく変わってしまいました。

ただ、同窓会という場を設けるからには、地震や様々な困難に対して、皆で協力できることを支援していくことが大事だと思いましたが、新たな視点で若い方の知恵や意見を取り入れて、この会を存続させるべきだと考えました。

これからは若い方の頑張っている下地を作っていくかなくては行けない、そのためには10年経っても上には行けないと考えましたので、大変勝手ながら、今期で会長職を退かせていただきたいと思います。

これからは一兵卒として、皆様からご意見をいただければ、役員会につなげる役割を果たしたいと思えます。今後は駿河台大学を支え、同窓会と学生のために、縦と横の軸の連携を図っていきたくと考えております。

この5、6年で、懇親会場にたくさんの方が来てくださるようになって、同窓会もやっと動き出したところだと思えます。この火を消してはいけないと思います。

#### 中島俊夫新同窓会長からの挨拶



この度、任期途中ではありますが、富岡前会長から退任のお申し出がございました。誠にありがとうございました。更なる実現に向け、新しい役員を迎え、皆様一人一人の声を傾け、より良い同窓会にしたいと考えております。

今、社会は東日本大震災により大きく変わってしまいました。被災された方々に、心よりお見舞い申し上げます。被災者支援はもとより、駿河台大学同窓会からこの国を元気にしていこうという気持ちで何かできることはないかと考えております。

先程、川村学長からもお話がございました通り、駿河台大学は今年度創立25周年を迎え、節目の年でもあります。11月23日の勤労感謝の日には、大学と同窓会の共催により記念事業を行います。

25周年記念の懇親会は、「来てよかった」と感じていただけたらいいなと思っています。同窓会の企画等に関しまして、アドバイスやご提案がございましたら、是非、お知り合いの役員に声をかけていただければと思います。

皆様と一緒に良い同窓会にしていきたいように思います。簡単ではありますが、これで就任の挨拶とさせていただきます。

その後の総会では次の議題について審議されました。

- 1. 平成23年度役員について
- 2. 平成22年度事業報告及び収支決算報告について
- 3. 平成22年度監査報告について
- 4. 平成23年度事業計画及び収支予算案について
- 5. 会則の一部変更について

※資料は同窓会ホームページにも掲載しておりますのでご覧ください。冒頭のご挨拶のとおり、富岡前会長の退任により、中島俊夫氏が新会長として承認され、新体制のもと総会が行われました。また、新役員のご紹介も次頁に掲載しておりますのでご覧ください。

総会終了後の16時30分より懇親パーティーが開かれ、副会長の桐生岳氏(平成5年法学部卒)の乾杯のご発声で開会となり、その後、同窓会名誉会長の山崎善久理事長よりご挨拶をいただきました。懇親会の余興では、アカベラサークルacdの現役学生10名が「キラキラ・いきものがかり」「ジョイフル・光のEYE」「勇氣100%」を披露しました。

また、中盤では、今年度より同窓会幹事となり、た学生支援部長高橋次長と、大貫秀明スポーツ教育センター長より、スポーツ振興についての紹介があり、昨年のバンクーバー・パリリンピックで見事メダルを獲得した、遠藤隆行選手と鈴木猛史選手にもメダルを披露していただきました。

鎗田副学長・佐古副学長らも、同窓会からの寄付講座に対するお礼の言葉もいただきました。



左から遠藤選手、鈴木選手

今年度は震災後の開催にもかかわらず、各方面から多くの方に参加いただきまして、誠にありがとうございました。(同窓会事務局)



アカベラサークルacdの学生

平成23年度同窓会役員のご紹介

役職	氏名	卒業年	学部
会長	中島 俊夫	平成7年卒	法学部
副会長	桐生 岳	平成5年卒	法学部
新井 克明	平成12年卒	文化情報学部	
渡部 成人	平成9年卒	法学部	
飯塚小姫子	平成13年卒	文化情報学部	
監査	朝田 淳	平成15年卒	文化情報学部
長嶋 亮吉	平成7年卒	経済学部	
富岡 勇哉	平成4年卒	法学部	
森沢 克啓	平成9年卒	法学部	
廣瀬 尚	平成5年卒	法学部	
市川 紀子	平成7年卒	法学部	
鈴木 俊明	平成7年卒	法学部	
森 健	平成16年卒	経済学部	
三枝 桂子	平成18年卒	現代文化学部	
岡部 浩一	平成20年卒	経済学部	
井上 勝海	キャリア支援部長		
小森 千亜樹	キャリア支援部長		
雷 光一	学生支援部長		
高橋 祐司	学生支援部長		
中川 順子	学生支援部長		

平成22年度

「卒業を祝う会」が開催されました

東日本大震災とそれに続く余震の影響や計画停電の実施、更には交通機関の混乱という状況の中で、3月25日(金)に予定していた卒業式とコンメンスマント・パーティは中止となりましたが、被災地もようやく復興に向けて動き出したことから、6月12日(日)に「平成22年度



卒業を祝う会」を開催しました。既に、社会人としての新生活が始まり、忙しい中にも関わらず、卒業生とご父母、教職員合わせて200名以上が参加してくださいました。



式典で卒業生代表として挨拶の立った法学部卒業生の妹尾章弘さん(写真左上)は、卒業間近の3月11日に帰省先の福島県で被災し、避難所で不安日々を過ごしていた時、大学の友人からたくさん励ましの言葉が届いたそうです。「自分は多くの人に支えられてきていることを改めて認識した。今回の震災で奇跡的に生かされた意味を見出し、社会に貢献できる人間になりたい」と力強く語りました。

式典終了後には、後輩である在学生が企画した懇親パーティが開催され、ゼミの先生や教職員と再会した卒業生は、駿河台大学で培われた絆をより一層強いものにしていました。



母校を訪ねて〜同時代的居場所〜



鈴木 達仁さん  
平成20年3月卒業  
現代文化学部  
現在、ドイツ在住  
海外営業勤務

先日、日本を訪れた際、約2年ぶりに大学を訪れる機会に恵まれた。卒業後も度々、事あるごとに足を運んでいた母校であるが、ここ最近ではしばらくご無沙汰しており、久しぶりの母校訪問となった。

まず西武線にて飯能駅に降り立った時点で自分の中に懐かしさがこみ上げてきた。3年間という10代から20代にかけての貴重な時間を過ごした場所はやはり忘れ難いものである。スクールバスから降りて、大学に着いた時には懐かしさと共にある種の安堵感に近い感覚をも覚えた。

今回の大学訪問は学生時代お世話になった先生方や職員の方々に挨拶するのが目的であったが、一人ひとりの再会するにつれて当時の自分を思い出すと同時に、当時の自分を客観視している自分がそこに存在していることに気がついた。これを成長と呼ぶべきか、変化と呼ぶべきか現時点では未だ定かではない様な気がする。しかし、このような自分の「居場所」というものの

が世界中どこであれ存在しているということは、自分にとって大きな糧であり誇りでもある。

私は学生時代に一年間、交換留学生としてミュンヘンで学ぶ機会に恵まれた。ミュンヘンでの経験は、今もなお自分の土台となる基礎の部分の中に築き上げてくれたように思う。そして何より、このミュンヘンでの一年間は私に新たな居場所を与え多くのものを教えてくれた。自分らしく生きる事の大切さ、自分の信念を貫くことの重要さ、国境を越えた人間関係の無制限性、言語・語学の重要性、バイエルンの豊かな自然、そして多くの友人達。一年間という刹那的な時間はこのミュンヘンという文化的に成熟された街に惚れ込むことに關しては十分すぎるほどの時間であった。しかし、日頃の生活は束の間のように過ぎていき、時の流れの速さを当時としても痛感した記憶がある。

私はこのミュンヘンという街の包容力、そして伝統を重んじるところに非常に魅せられる。そのミュンヘンという、好いてやまないこの街で現在生活できていることに、今は本当に心から感謝している。そして、ここそが自分の居場所として一番落ち着きを感じるのである。しかし、この自分の居場所というものを見つけたら、太田先生や明石先生をはじめ今の土台を築いてくれた駿河台大学という居場所があったからであるに他ならない。今回、久しぶりに大学を訪れた当時の自分を振り返ると共に、自分の中でまた新たな発見や新鮮さを見つけたことは大きな収穫となった。世界は違えども、同時代的に自分の居場所が存在していることの有り難さ、そして大切さを再認識できたように思う。また、折りに触れ機会があれば訪問できればと思う。

今回、突然の大学訪問にもかかわらずお時間を割いてくださった方々、本当にありがとうございました。

卒業生からの近況報告

鉦路日中友好協会設立 記念フォーラム開催

同窓会北海道支部設立にご尽力いただいております、上見国敏氏(平成7年3月経済学部卒)からの近況報告をご紹介します。

6月24日(金)に、同じく本学卒業生の柏倉柳一郎氏(平成6年3月経済学部卒業・現在ストラテジック・コンサルティンンググループ株式会社取締役副社長)をパネラーに招き、鉦路市生涯学習センターにて鉦路日中友好協会設立記念フォーラムが開催されました。



今回、鉦路で日中友好協会を設立するにあたって

は、私は最初からフォーラムを行うことを前提に準備しておりました。

コーディネーターの辛赤邑氏(北京城建集団有限公司日本駐在代表)は、私が駿河台大学時代に知り合った友人に当たります。当時、留学生とつくづく留学生交流の日中学生会メンバーと参加した、駒沢で毎年開催された日中学生会オリエンテーションの「長江計画」で知り合いました。

パネラーの柏倉氏は、駿河台大学経済学部の一級先輩であり、当時私が所属していた国際関係研究会の会長でした。もう一人のパネラーの劉建生氏(CITIC中国郵便国際旅行社日本部長)は私が駿河台大を卒業した後に留学した、北京語言大学(当時北京語言学院)の同窓になります。

基調講演をいただいた、中華人民共和国駐日本国大使館公参事官湯本淵氏は辛赤邑氏の吉林大学の一級先輩で、それが主たる縁で、さらに私が所属している日本青年会議所の対中国組織である中華全国青年連合会副秘書長であったということも、鉦路招聘を可能にしたわけですね。

さらに今回の鉦路での開催にあたり全国に情報発信することを目的に、蔣豊氏(日本新華僑編集長)をお呼びしました。彼は辛赤邑氏の友人です。大使館公参事官が鉦路に来るとのこと、札幌総領事もかけつけてきたわけですね。

まさに「同窓同鋼」(同窓は鋼のように強い繋がりをもつ)ということですね。

駿河台大学は大学としては小規模であり、教授陣とより身近に密接に勉学できる環境にあります。他の有名大学を凌駕するほどに有名な教授陣が揃っているわけですね。

有名大学のようにハコは風格があり中身も風格があるのと異なり、駿河台大学は、ハコは新しく中身は国際的競争力をもつ最新の教育環境です。

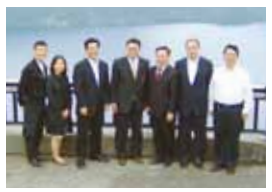
これは学生にとってまさにチャンスであり、このようなチャンスは一部の大学を除き、他ではほとんどめぐり合えないような教育環境にあることを、学生は知らなくてはなりません。勿体無いほどに恵まれているわけです。

現在、北尾さんが社長を勤められるSBIグループ、その連結子会社の副社長に就任した柏倉氏は、駿河台大学の教育環境を大いに活かし、じつは今も活かして経済界で活躍しておられます。

このような深い人間関係を構築できる大学にはなかなかめぐり合えません。まさにこれが象徴のように思えてなりません。

人は常に謙虚でありながらも、しかし一方で死ぬまで勉学にいそしむことによって新たな道が開けるわけです。

このような機会をつくってくれた母校に感謝致します。



左から3番目が柏倉氏、中央が上見氏

# 同窓会事務局より

## 東日本大震災による災害のお見舞い

平成23年3月11日(金)に発生した東日本大震災で被害が大きかった地域にお住まいの同窓生の皆様、心よりお見舞い申し上げますとともに、被災地の一日も早い復興をお祈り致します。

駿河台大学同窓会では、この度の震災の直後、青森・岩手・宮城・福島・茨城県在住の同窓生約1000名のうち、特に被害の大きかった地域に住所のある方287名に安否確認のはがきを送らせていただきました。

その結果、家屋全壊または流出4件、半壊0件、一部損壊5件、郵便物不達13件であることが判明し、被災された同窓生の方への援助を検討してまいりました。

その後、5月28日(土)に同窓会総会が開催され、東日本大震災で家屋が被災した同窓生に対し、全壊10万円、半壊・損壊5万円の援助金を交付させていただきました。8月末までに申請のあった4名(全壊2名、大規模半壊1名・半壊1名)の方に援助金を交付させていただきました。しかしながら、未だ郵便が届かない方も多数いらっしゃいますので、同窓生の安否や家屋の被災状況をご存知の方がいらっしゃいましたら、同窓会事務局までご連絡いただきたく、お願い致します。また、残念ながら、この度の震災で亡くなられた同窓生をご存知の方がいらっしゃいましたら、同窓会事務局までご連絡をいただきたく、お願い申し上げます。

なお、現在も被災者援助金の申請を継続して受け付けておりますので、該当する方がいらっしゃいましたら、次の要領をご参照いただき、申請手続きをしていただくようお願い致します。

## 東日本大震災被災者に対する同窓会からの援助について

### ● 援助金給付対象者

駿河台大学同窓会正会員(卒業生)が居住する建物(家財は含まない)に損害があり、「罹災証明書」を提出できる方。

※ただし、平成23年3月に卒業した方につきましては、駿河台大学互助会から援助させていただきます。

いております。

### ● 援助内容及び基準

全壊(50%以上の損害) 10万円(給付)  
半壊・一部損壊(20%以上50%未満の損害) 5万円(給付)

※「罹災証明書」の全壊・半壊・損壊の記載をもとに給付額を決めさせていただきます。

### ● 提出書類

①被災者援助金申請書  
②罹災証明書(コピー可)

③援助金振込口座届

※①被災者援助金申請書・②援助金振込口座届は駿河台大学同窓会ホームページからもダウンロードできますが、同窓会事務局にご連絡いただければお送り致します。

※提出書類(3点)を同窓会事務局までお送りください。

## 「東日本大震災被災者救済義援金」について

駿河台大学同窓会では、この未曾有の大震災にあたり、被災者の方々に対して支援を行うため「東日本大震災被災者救済義援金」を募ることにいたしました。

つきましては、義援金の趣旨にご賛同いただける同窓生の方々のご協力をお願い申し上げます。なお、同窓生の皆様からお寄せいただきました義援金は、日本赤十字社の「東日本大震災義援金口座」に全額寄付させていただきます。

### ● 飯能信用金庫

飯能中央支店(店番001)

普通 20606082

駿河台大学同窓会事務局

(スルガダイタイガクトウソウカイ)

※振込手数料はご負担願います。

※受付期間は、平成23年12月末日までを予定しています。

※受付期間終了後、駿河台大学同窓会ホームページにて義援金(金額)をご報告させていただきます。

※不明な点は連絡先までお問い合わせください。

### ＜連絡先＞

駿河台大学同窓会事務局

TEL 042197211101

FAX 042197211149

Email dousou@surugadai.ac.jp

## 同窓会からの卒業寄付について

平成22年度卒業生から大学への卒業寄付としてスクラムマシンと移動式屋外放送設備(ポータブルPAシステム)の2点を寄贈致しましたので、ご報告致します。

また、スクラムマシンを寄付させていただきました。駿河台大学ラグビー部の狐塚 賢一郎部長(現代文化学部准教授)よりお礼のメッセージをいただきましたので、ご紹介させていただきます。



このたびは、同窓会から最新鋭のスクラムマシンをご寄付いただきました。厚く御礼を申し上げます。

駿河台大学ラグビー部(Lightning Bolts)は現在、関東大学リーグ戦3部に所属しています。過去には6部に低迷し、部員数もゲームが相める15名を割る時期もありましたが、スポーツ推薦等で部員を確保し、2009年度に3部昇格を果たしました。3部となると強豪校がひしめき、ひとまわりもふたまわりも身体の大きな相手と対戦することも珍しくありません。そのため、スクラムなどの練習はとて重要になり、今回ご寄付いただいたスクラムマシンは目標である3部優勝、2部昇格を果たす上で大きな武器になってくれるものと確信しています。

ラグビー部では毎年7月上旬に現役チーム対卒業生チームの試合、懇親会を行い、現役学生と卒業生の交流をはかっています。今年度はスクラムマシンのお披露目はできませんでしたが、次回はぜひ卒業生の皆さんにも実際にスクラムを組んでいただき、新しいスクラムマシンの感触を味わっていただければと考えています。

このスクラムマシンを活用し、ぜひよい結果を残せるよう頑張りたいと思います。公式戦の結果など活動状況は、ラグビー部ホームページに更新いたしますので、ぜひご覧になってください。

## 駿河台大学貸与奨学生・日本学生支援機構奨学生の方へ

本学在学中に駿河台大学貸与奨学金または日本学生支援機構奨学金の貸与を受けていた方へお知らせします。

### 駿河台大学貸与奨学生の方

毎年11月頃に、本学よりご登録住所に「勸奨状」をお送りさせていただきます。その後、振込用紙をお送りしますので、12月末までに返還金の納入をお願い致します。

### 日本学生支援機構奨学生の方

奨学金の返還は、卒業した年の10月27日から、月賦返還または月賦・半年賦併用返還により行われます。

ただし、奨学金の返還が経済的に困難になった場合は、「奨学金返還期限猶予願」もしくは「奨学金減額返還願」を日本学生支援機構に提出し、必ず手続きをしてください。

また、東日本大震災で被災された方のうち、災害救助法の適用を受けない近隣の地域であっても同等に被災された方や勤務先が被災した方については、返還が減額・猶予される場合があります。

返還期限猶予・減額返還の制度・願出方法の詳細については、日本学生支援機構のホームページをご覧ください。また、奨学金返還相談センターにご相談ください。

＜日本学生支援機構 奨学金返還相談センター＞  
057010317240(ナビダイヤル)

※PHS、一部携帯電話、IP電話から031674316100

※受付時間 8時30分～20時00分

※月曜・金曜(土日祝日・年末年始を除く)

● 奨学金返還相談センターにお問合せの際には、お手元に奨学生番号のわかるものを用意ください。  
● 転職などで住所変更された方は、必ず奨学金返還相談センター(☎:057010317240)ナビダイヤル)へご連絡をお願いします。

### ■ 情報提供について ■

独立行政法人日本学生支援機構 (JASSO) (旧・日本育英会)  
ホームページ(パソコン用)http://www.jasso.go.jp/  
ホームページ(スマートフォン用)http://daisakujic.jp/jasso/  
モバイル携帯電報http://daisakujic.jp/jasso/

## 「冥福をお祈りいたします」

本学名誉教授 馬川千里氏(81歳)におかれましては、6月13日(月)にご逝去されました。謹んでお知らせいたします。